

エスユー通信



社長挨拶

2022年度も残り半分！

皆さん毎日の作業お疲れ様です。9月も終わり今年の前期（4～9月）も終了しようとしています。前半に掲げた目標は達成できたでしょうか。また、後期（10月～3月）に掲げている目標は周知できていますでしょうか。9月は色々な節目になっています。前期の反省をし、後期の目標を確認して進む月です。再度まだ反省できていないことや、目標確認できていないことがあれば済ませておきましょう。

2023問題 私たちにできる事とは…

今年の後期は、『2023年問題』と呼ばれている残業代変更や最賃アップなど賃金に関しての変更がありますが、準備は出来ていますでしょうか。来年はこれにより労働時間の圧縮がうたわれております。労働時間を削減し、今までと同じ収入を確保するには、値上げと作業改善が必須です。営業所では、お客様との運賃の値上げや付帯作業カットの交渉が山場を迎えております。事務所は、営業的な諸問題を解決すること。現場は、現場での安全と品質を守り、付帯作業について報告をすること。それぞれの役割を果たし、2023年問題、2024年問題の解消に取り組みましょう。また、コロナも落ち着いてくる見込みなので、営業所内のコミュニケーション活動も再開していきましょう。宜しくお願い致します。

代表取締役 清水 英次



30分前の法則を把握せよ！

意外と知らない

ライト点灯の

タイミング



感覚で覚える日没30分前

夏も終わりに差し掛かり、日没時間が日に日に早くなってくる季節となりました。とある調査では日没前後の運転時に「ヒヤリ」とした経験をしたことがある方が多くいるようです。今回は視界が悪くなる日没前後の交通事故を防ぐための対策について紹介致します。

対策として早めのヘッドライト点灯が推奨されています。道路交通法では「日没時間」を基準としてライトの点灯を義務化していますが、JAF（日本自動車連盟）ではより安全な運転を考えて、それよりも早めのタイミング「日没30分前」での点灯を推奨しています。



日没 30 分前の様子

空はまだ明るく、それほど暗くは感じられませんが、走行中のクルマのテールランプは日中よりだいぶ目につきやすくなっています。まずは、これをヘッドライト点灯の目安として覚えておきましょう！

インターネットなどで日没時間を調べ、それより30分早い時間を点灯時間の目安にすることもできますが、日没30分前を日々意識するのは難しいものです。また、天候によっても太陽光の照度は大きく異なってきます。そのような時は前の車のテールランプや信号の点灯に注目してみましょう。上の画像のように一見、まだまだ明るいと感じられても、前のクルマのテールランプや信号、もしくは看板類といった発光体の輝度が気になるようになってきたら日中に比べ天空照度が下がっているサインです。また、車内のメーター周りが見づらくなってきた場合も該当します。

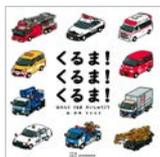
夕方は帰りを急ぐ方も多く、昼間と比較して周囲の視界が悪くなります。薄暗くなる前から前照灯を意識的に使用して自分の車の存在を周囲に知らせるようにしましょう。皆様も是非お試しください！

出典：くるくら様 (<https://kurukura.jp/safety/190930-10.html>)

当社のトラックが 絵本に掲載されました！

当社（富士見営業所）のトラックが絵本に掲載されました。緊急車両や工事車両はもちろん、トラックやレッカー車、タンクローリーなどよく見かける働く車に焦点をあてた1冊です。お子さん、お孫さんへ絵本のプレゼントはいかがでしょう？

出版：講談社
『くるま！くるま！くるま！
はたらくるまのまいしゅうごう』
絵・原案：まるはま氏



インスタグラマー募集中！



先月の社内報でInstagramの協力者を募集したところ、仲間が増え投稿が盛んになってきています。皆さんご協力頂きありがとうございます！まだまだ『映える』『バズる』アイデアをお持ちの方大募集中です！興味のある方は、所長または担当者までお知らせください！

◀ 清水運輸のInstagramを覗いてみる

ドラコン全国大会優勝！

9月11日に神戸で行われたKRSドライバーコンテスト全国大会で、富士見営業所の大型ドライバー戸田敏勝さんが見事優勝されました。日頃からの運転技術と大会前には周りの方の協力を得ながら練習をし、栄冠を勝ち取ったそうです。戸田さんの今後益々のご活躍をお祈りいたします。おめでとうございます！



お知らせ